

シグマ研究委員会  
昭和55年度 第4回運営委員会議事録

日 時 昭和55年8月1日(金) 13:30 ~ 17:30  
場 所 原研本部 第7会議室  
出席者 塚田(委員長, 日大), 松延(住友原工), 宮坂(核管セ),  
大竹(動燃), 久武(東工大), 田中, 更田, 五十嵐, 菊池(原研)  
オブザーバ : 松本, 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回議事録(案)(55.6.5)
2. 55年度第1回シグマ特別専門委員会(55.6.5)議事録(案)
3. 55年度旅費使用状況
4. 「JENDL-3に関するアンケート調査」結果の中間報告
5. 第7回核データ小委員会報告
6. 核データ評価コードWG活動状況
7. 原子力総合シンポジウム資料

議 事

1. 前回議事録確認  
資料(1)により確認を行った。
2. 特別専門委員会議事録確認  
資料(2)により確認を行った。その際、「核データニュース」の投稿規定を作成するときに、原研の情報資料部との関連を検討する必要があるとのコメントがあった。
3. 旅費使用状況  
事務局より資料(3)をもとに、本年度のシグマ研究委員会旅費の7月末までの使用状況の説明があり、とくに本年度は例年に比べて使用が増大しているため留意して欲しいとの注意があった。旅費は10月頃に各専門部会長

とも相談し、再調整することにした。

#### 4. 人 事

事務局より、新たな専門委員として、鈴木友雄氏(原研)、中沢正治氏(東大工学部)、川瀬幸男氏(情報システム研)(何れも遮蔽定数WG)の申請のあったことが報告され、了承された。浅見明氏の再発令の手続きも同時にとることになった。また、特別専門委の主査に原田氏になったことを学会に連絡したとの報告があった。

#### 5. 核データ小委員会報告

田中氏から資料(5)により、前日(7. 31)に行われた第7回核データ小委員会の議事内容について説明があった。その中で、この小委員会はシグマ委員会と荷電粒子核反応データ(CPND)プロジェクトとの間の情報交換を主目的の一つとしていること、ENSDF 関係の情報を物理学会関係にも流して欲しいとの要請があったことなどの説明があった。

#### 6. JENDL-3 に関するアンケート調査

現在行っている JENDL-3 に関する調査結果の中間報告として、資料(4)の説明が浅見氏から行われ、討議を行った。それに関連して、加速器の遮蔽に関する核データ、Dosimetry file, 医学関係で必要な核データの整備の問題点等について議論があった。

#### 7. 核データ評価コードWG の活動状況

松延氏より、資料(6)によって核データ評価コードWG の最近の活動状況の概要ならびにサブWG の編成に関して説明があった。

#### 8. 原子力総合シンポジウム

松延氏から、資料(7)により学会の運営委員会での審議の状況について説明のあった後、シグマ委員会として提案するテーマについて討議を行った。その結果、「放射線と生物」、「放射線影響評価のための核データ」(講演者 1～2名)などが候補に上ったが、詳しくは次回に討議することになった。

#### 9. 中国からの訪問について

塚田氏から、中国の核データセンター長以下3名が9月1日～20日の予定で日本に滞在し、日本各地の研究機関を訪問する旨のアナウンスがあっ

た。

#### 10. 京大炉研究会の報告

菊池氏より7月21, 22日に京大炉で行われた「加速器による中性子実験に関する専門委員会」の研究会の概要について報告があった。とくに核融合ニュートロニクスに関連した話題, それらからの核データについての要望などについて説明があった。

次回は9月4日(木) 13:30より原研東海研で行う予定。